

# 令和5年度 市民生活部長「政策宣言」達成状況

市民生活部長 長谷川 寛和

## ○ 令和5年度重要事業

事業名	多様な人材が活躍できる環境づくりと都市間交流の推進
目標	性別や国籍に関わらず、だれもが個性や能力を発揮し自分らしく暮らすことのできるダイバーシティ社会を実現するため、引き続き、女性リーダーの育成やネットワークづくりを推進するほか、互いの文化や価値観の相互理解を深め、多文化共生の地域づくりに取り組みます。 また、台北市土林区をはじめとした友好・姉妹都市と、幅広い分野での交流促進を図ります。
年度末達成状況	働く女性のスキルアップのための「いみずキャリアステップ応援塾」や、新たに女性の地域活動への参加を後押しする「女性活躍推進セミナー」のほか、多様な価値観や違いを認め合う意識醸成を促すため「ダイバーシティシンポジウム」、「多文化共生まちづくり交流会」を開催しました。 また、姉妹都市である長野県千曲市、北海道剣淵町との行き来が再開したほか、友好都市である台北市土林区に市長等が訪問し、令和6年度の友好提携5周年記念事業の開催や、今後の交流拡大に向けた意見交換を行いました。
自己評価	引き続き、性別や国籍に関わらず、個性と能力を最大限に発揮し、地域の一員として、だれもが自分らしく暮らしていくことができるまちづくりに取り組んでまいります。

事業名	地球温暖化対策地方公共団体実行計画の策定
目標	本市のカーボンニュートラル実現に向け、市民、事業者、行政が総合的かつ計画的に取り組む具体的な施策について検討し、本市の温室効果ガス排出量の削減に向けた計画を作成します。
年度末達成状況	市民や事業者を対象としたアンケート調査のほか、学識経験者、関係事業者及び市民の代表者等で構成する策定検討会を開催し、計画の基本方針、施策・取組、取組指標について広く意見を取り入れながら協議・検討を進め、本年3月の市議会定例会において「射水市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の素案について報告しました。
自己評価	今後、パブリック・コメント等による市民の皆様のご意見を踏まえ、本年6月頃の策定に向けて引き続き作業を進めるとともに、2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、計画に基づく施策を推進してまいります。

事業名	持続可能で利用しやすい公共交通の推進
目標	射水市DXビジョンに掲げた、AIを活用したオンデマンドバスの導入に向けた実証運行に取り組んでまいります。 また、引き続き、高齢者等の近距離移動手段確保の取組に対し支援するとともに、越中大門駅のバリアフリー化に取り組むなど、持続可能で利用しやすい公共交通の推進に努めます。
年度末達成状況	AIオンデマンドバス「のるーと射水」の本市南東エリアでの本格運行を本年3月25日から開始しました。 また、高齢者等の近距離移動手段の確保に取り組む地域を支援する補助制度について、地域振興会に説明を行うなど、普及に努めました。越中大門駅のバリアフリー化については、実施主体であるあいの風とやま鉄道（株）と連携し、エレベーター設置に係る詳細設計を行っています。
自己評価	出前講座や各種取組を通じ、地域公共交通の利便性向上に努めました。 今後は、「のるーと射水」の他エリアへの拡大や越中大門駅へのエレベーター設置に係る取組を進めるなど、引き続き、持続可能で利便性の高い地域公共交通の実現に努めます。

事業名	スマート窓口の推進
目標	市役所窓口の手続時に届出・申請書類を一括して作成できる「窓口支援システム」（書かない窓口）を本庁舎に導入し、来庁者及び職員の負担の軽減、所要時間の短縮を図り、市民の利便性向上に努めます。
年度末達成状況	本年2月16日に運用を開始し、住民異動届をはじめ23種類の届出、申請書について、住所、氏名、生年月日等が印字された書類を自動作成しています。
自己評価	来庁者からの満足度も高く、また、時間のかかる転入手続などにおいて所要時間が短縮されるなど、システム導入の効果が表れています。今後ともシステムを活用した窓口運用の改善に努めます。